

# 第10回 雪の学習研究会

## 札幌市学校教育の重点「雪」の 授業実践はこれだ！

主催：北海道雪プロジェクト・北海道教育大学  
北海道教育大学附属札幌小学校  
後援：北海道教育委員会・札幌市教育委員会（予定）

2011年12月2日 **金** 14:00  
～17:00

会場 北海道教育大学札幌駅前サテライト  
札幌市中央区北5条西5丁目7 SAPPORO55 4階

### 日程

#### 14:00 模擬授業＋解説「一歩進んだ雪の実践！」

- ①4年社会「雪とくらす」（安全なくらしとまちづくり） 佐野浩志（札幌市立山の手南小）
- ②5年社会「沼田町の雪中米の取り組み」（食料生産を支える人々）伊藤健太郎（札幌市立新陽小）
- ③6年 総合的な学習の時間「雪の学習でプレゼンテーションをつくろう」  
朝倉一民（札幌市立屯田北小）
- ④5年理科「冬の天気」（天気の変化） 割石隆浩（札幌市立新琴似緑小）

15:20 ついに完成！雪のプラン集Vol. 2） 土門啓二（ニセコ町立ニセコ小）

#### 15:40 トーク「これが雪の実践のヒント！」

- ①「雪とのかかわりを深める生活科の実践」 横藤雅人（札幌市立羊丘小校長）
- ②「現地学習は冬の北海道開拓の村へ！」 細川健裕（北海道開拓の村）
- ③「雪があるから楽しい！雪の中で思い切り遊ぼう！～幼稚園の事例から～」  
松本美和（札幌市立はまなす幼稚園）
- ④フリーディスカッション コーディネーター：佐藤裕三（札幌市立ひがしなえぼ幼稚園園長）

16:45 まとめ 新保元康（札幌市立山の手南小校長）

参加者に「雪の学習プラン集Vol. 2」や  
「テキスト」、「ワークシート」を進呈

対象 教員の方を中心に、学生・一般の方

参加費 無料

### 申込方法

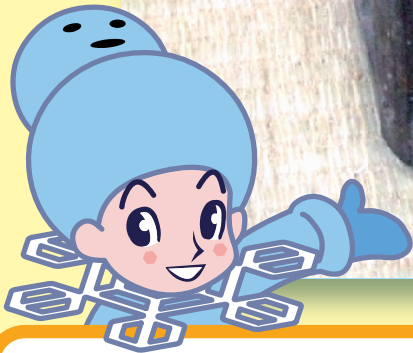
下記明記の上e-mailまたはFAXで

- ①「雪の学習研究会」参加希望
- ②所属学校名・担当学年
- ③参加者氏名
- ④参加者の連絡先（e-mailアドレス・  
電話番号・FAX番号）
- ⑤懇親会参加希望の有無  
（17:15から札幌駅周辺で開催予定）

### 申込・問い合わせ先

北海道教育大学札幌校・高橋庸哉  
〒002-8502 札幌市北区あいの里5-3  
e-mail: takahasi@sap.hokkyodai.ac.jp  
FAX: 011-778-8822  
TEL: 011-778-0293





## この写真を実物投影機で映して、社会科の授業をしてみませんか？

- Q 1** 昔、札幌で冬に使われた道具です。一体何の道具でしょう？  
→ 暖房です。中の金属の入れ物に火をおこした炭を入れ、ふとんや毛布を掛けて体を温めました。「行火（あんか）」といいます。
- Q 2** 中の炭を入れる入れ物は、外側の箱からぶら下がっています。ぶら下がっていると、よいことがあるのです。それはどんなことでしょうか？  
→ 入れ物がぶら下がっていると、箱が多少傾いたり揺れたり、あるいは何かにぶつかったりしても炭が落ちにくく、火事ややけどの危険が少なくなります。
- Q 3** この「行火」は一体どこで使われたのでしょうか？  
→ 夜寝る時や、冬の馬車や馬そりの中で使われました。

自動車が普及する前、北海道の交通機関の主役は「馬」でした。人を運ぶのも、物を運ぶのも、一年を通して「馬」の力に頼っていたのです。地方によっては、昭和30年代まで馬が活躍していました。行火は、そのような暮らしの中の工夫の一つと言えるでしょう。

北海道雪たんけん館HPには、このような授業のヒントがたくさんあります。どうぞご覧下さい。

